

ニシテ船体ハ亞鉛鍍ヲナシタル軟鋼板ヲ以テ製シ假組立ヲ了リタル后ウラジホストック港へ廻送シ更ニ同所ヨリ内地ニ運送シ所要ノ地ニ於テ建造スルモノナリト云フ(インジニアリング)

(以上三件
西常)

○船艦建造ニ亞爾密紐謨使用ノ確定 佛國政府ハ亞爾密紐謨ヲ艦船ノ建造ニ使用スル事ヲ確定シ其第一著手トシテ亞爾密紐謨ヲ以テ一等水雷艇五隻ヲハーヴィノ造船所ニ於テ建造セシメントス但シ艇ノ外部ハ全部薄キ鐵板ヲ用フヘシト云フ(ル、フランコ、カリフオルニア)

○軍艦燃料トシテ石油ノ採用 佛國甲鐵戰鬪艦「シャル」、マニニユ及ゴーロワーハ石油ヲ燃料トスルノ構造ヲ採用セリ海軍卿ハシヤル、マニニユニ於テ近々其試験ヲ爲サシメンカタメ知港事ニ同燃料二十噸ヲ購入スヘキコトヲ命シタリ

ゴーロワーハブレストニ於テ建造中ナルカ既ニ大體ノ工事ヲ終ヘタレハ本年九月末若クハ十月上旬ニ於テ進水スヘシト云フ(佛國ル、タン)

○米國新船渠 北米合衆國華盛頓州キトサップ郡ボルトヲルチャードニ於ケル新船渠ノ構造並ニ本年四月廿二日合衆國海岸防禦船モントレー號ノ試驗入渠ノ實況左ノ如シ(官報ニ據ル)

ボルトヲルチャードハ英米両國ノ境界水ナルヲンド、ブーカヨリビューセット海峡ニ入ラントスル中間ノ半嶋キトサップ郡ノ内東ニ面シタル海濱ノ深奥ニ在リテシャトル港ヲ距ルコト海路十六哩タコマ港ヲ距ルコト三十三哩ノ處ニ在リテ數年前ヨリ合衆國西北部太

平洋ノ軍港ト爲ルヘシトノ說アリシカ昨年ニ至リ同政府ハ一万弗ヲ支出シテ二百二十噸ノ土地ヲ買収シ之ニ新渠ヲ築キ及官衙官舍等ヲ建築シ之ニ加フルニ十一萬弗ヲ支出シテ船舶修繕所ヲ新築スルコトニ議會ノ承諾ヲ經タルモノナリト云ヘリ本海灣ノ内外ニ通スル出入口ハ北面及東面ノ二口アルノミニシテ一條ノ小海水ベインブリッヂ島ト本半島トノ間ヲ迂回シテ両口ニ達スルヲ以テ外敵ノ襲入ニ當リテハ巧ニ船渠ノ所在ヲ隱蔽シ又其海水最モ狹隘ナル部分ニ在リテハ僅ニ三百メートルニ過キサルヲ以テ有事ノ日ニ方リテハ容易ニ水雷ヲ沈没シテ防禦ノ術ヲ施スニ適スヘク只其位地英領加拿大ノ境界線ニ接近スルノ一事如何ヲ顧ルノミ

本船渠ハ一千八百九十二年十月中在タコマバイロン、バーロー會社ノ請負ヲ以テ開設ニ著手シ當初請負高ハ四十九万一千四百六十五弗ナリシカ後更ニ之ヲ六十万八千弗ニ増加シ本年十一月竣工ノ見込ナリシモ作業ノ進歩能ク今日ノ速成ヲ遂ケタルナリト云ヘリ

北米合衆國中大船渠ノ設アルモノ九箇所内石造四箇所不造五箇所ナリ而シテ本船渠ハ木造ニシテ他ノ石造及木造ニ比シ最大船渠ノ位置ニ立チ且ツ世界中ノ大船渠ニ對シテハ第八位ニ坐スヘク即チ其總延長七百四十九呎八吋上部ゲート、シートヨリ渠頭ノコツビングマデハ六百五十呎五吋、底部木牀上ノ長サ五百七十三呎七吋、上部中央ノ最廣濶部百三十呎一吋、底部同六十。七呎一吋底部ノ牀上ヨリ表面ノ地平マテ深サ三十九呎三吋、入り口石造ノケイソン所在ノ幅員九十二呎三吋、渠中船艦ノ龍骨ヲ安坐スヘキ臺座ヨリ普通上潮ノ時水深二十八呎二吋、入り口ケイソンノ水深三十呎ナリ此構造ヲ以テ他ノ合衆國在來ノ大船渠

ニ比較スレハ左ノ如シ

ボストンニ於ケル船渠		プリクリンニ於ケル船渠		ノルフホルク船渠		リーギューフ船渠		同上		マール船渠		ボルト、ナルヤード船渠		同上		マール船渠		ボルト、ナルヤード船渠	
長	サ	幅	低員部	水	深	長	サ	幅	低員部	水	深	長	サ	幅	低員部	水	深		
一九一〇	英	三〇	英	二七	英	六〇〇	英	五三〇	英	六〇〇	英	五三〇	英	五〇〇	英	二六	英		
五三〇〇		五〇〇		五〇〇		五三〇〇		五三〇〇		三〇〇		六五〇〇		六七〇〇		二六			
木造		木造		木造		三六〇〇		三六〇〇		三〇〇		六五〇〇		六七〇〇		二六			
同上		同上		同上		二四〇〇		二四〇〇		二四〇〇		二六〇〇		二六〇〇		二六			

本渠構造ノ大略ハ入口ケイソンノ位置ヲ除クノ外ハ總テ米國産フワード樹ノ長材ニテ組成シ低部ハ長サ十呎乃至十五呎ノ角材大凡都合八千本ヲ三呎ト四呎ノ距離ニ於テ直垂線ニ地中ニ打込ミ其間ヲ粘土ト砂礫トヲ混合シタル彼ノブツル土ヲ以テ突キ固メ其上ニ十二吋四角ノ長材ヲ縦ニ十四吋ト十六吋トノ長角材ヲ横ニ張リ詰メ其上ヲセメントヲ以テ覆ヒ而シテ十三吋ノ牀材ヲ張リタルモノナリ本渠ノ左右及頭部ノ三側面ハコッピングヲ距ルコト廿五呎六吋ノ所マテ大凡四千本ノ長角材ヲ各々四呎ト九呎ノ距離ニ於テ直垂線ニ地中ニ打込ミ其中間ヲブツドル土ニテ突キ固メ更ニ横形ニ長材ヲ置キ之ニ十六吋角ノ木材ヲ打附ケ以テコッピングト爲シタルモノナリ入り口ケイソンノアル所ハ九十二呎八吋ノ幅員アリテ都テ普通ノ石造ナリ而シテ平時上潮ニ際シテハ水深三十呎ナルヲ以テ此時ハ最大船ノ入渠ニ適スヘシ潮水干満ノ差ハ八呎ヨリ十三呎マテナリト云フ

船底ノ龍骨ヲ支持スル臺座ハ每座八十噸ノ重量ニ堪ニヘシ故ニ其比例ヨリ推セハ現今世界ノ最大船ヲ入渠セシムルモ毫モ顧慮ヲ要セス

渠水排出唧筒ノ機關室ハ船渠ノ右側ニ在リテ茲ニ蒸氣機關ヲ備ヘ地中ニ開通シタル二百九十呎ノ鐵管ヨリ渠水ヲ前面ノ海中ニ排出ス其唧筒ハ四十二時ノセントリ、ヒューガル唧筒三箇ヲ備ヘ毎一分時間十一万瓦ノ水ヲ吸出スルノ實力ヲ有ス而シテ唧筒ハ各自獨立ノ動作ヲ爲シ他ト相關連セス瀛罐ハ都合六座アリテ各々直徑六呎、長サ十六呎、屋壁ヲ隔テ鄰室ニ安置ス而シテ前面ノ海水ト水平線ニ於テ本船渠中ニ海水ヲ充滿セシムルトキハ千七百五十万五千六百五十八瓦ヲ蓄フヲ得ヘシ然レトモ普通船艦ヲ入渠セシムルニハ千三百五十万瓦量ニテ其船艦ノ運動ニ堪ニヘシト云フ此千三百五十瓦ノ水量ハ前記三箇ノ唧筒ヲ一時ニ運用スルトキニ在リテハ凡ソ二時間ニテ悉ク排出スルノ比例ナリトス尤モ四月二十二日モンテレー號ノ試入渠ハ午前八時最低潮水二十六呎ノ時ニ始リ三十分ヲ經チ渠中ノ本位置ニ就是ニ於ケイゾンゲートヲ締切り正九時ニ至リ三箇ノ唧筒トモ同時ニ其運動ヲ起セシカ吸水ノ勢力餘リ强大ナリシカタメ渠中ノ艦體ニ動搖ヲ來シ已ムヲ得ス一箇ノ唧筒ヲ休止シ殘ル二箇ノ唧筒ヲ以テ排水ニ從事シ爲ニ午後一時二十分ニ至リ渠水全部ノ排出ヲ報セリ而シテ愈々茲ニ最後ノ船渠驗査ニ著手シ合衆國海軍將校及諸技師立會ノ上詳細實査ヲ遂ゲタル末コンマンダーモンロー氏ヨリ電信ヲ以テ本渠ノ構造完全ナルコトヲ華盛頓府ニ報告セシト云ヘリ

世界現在ノ他船渠ニ比シテ本渠ノ卓越シタル所ハ只木造ノ大船渠ニシテ入費ノ小額ナル

一事ニ在リ英領ヴァンクーバー於ケルエスクワイモルト船渠ハ石造ナルモ其廣サ本渠ノ三分ニ及ハス而モ尙ホ三百万弗ヲ費ス當渠ハスル大渠ナルモ僅ニ六十万弗ヲ費シテ竣功セシト云ヲ以テ之ヲ見レハ費用上莫大ノ懸隔アリ然レトモ目今當局者間ノ一疑問ハ本渠ヲ構造シタル木材ノ果シテ能ク幾年ヲ支持シ得ヘキヤト云フニ在リ尤モ技師ノ說ニ據レハ本渠ノ木製ナルハ反テ修理上彼ノ石造船渠ニ比シ利益ナリト云ヘリ

三箇ノ唧筒ヲ各ヨ一時ニ運用シ渠中ニ安坐セル船體ニ對シ搖動ヲ來セシ事實ハ注意ヲ要スヘキコトナランカ乃チ渠水ノ排出口ハ唧筒小屋ニ面シテ只一面ニ一大孔アルノミ本日試入渠ノ船艦ハ合衆國海岸防禦艦ナルヲ以テ其重量ハ形體ニ比スレハ固ヨリ普通船舶ノ及フ所ニアラサルモ尙ホ動搖セリ若シ之ヲシテ輕快ノ船舶或ハ空虛ノ商船二艘船渠ノ長大ナレハ二艘ヲ入渠セシムルハ當時ナルヘシ)ヲ一時ニ入渠シ其三箇ノ唧筒ヲ一時ニ運用セハ如何ナル變事ヲ生スヘキ必然レトモ之ヲ危險ナリトシテ毎ニ二箇ノミヲ運用スルモノト假定セハ他ノ一箇ハ用意品トシテ備ヘ置クニ過キス要スルニ本渠ノ溜水ヲ排出スルニハ四時間ヲ要スヘキ理ナリ聞ク所ニ據レハ此唧筒ノ實力トケイソン・ゲート構造ノ検査ハ既ニ前月中結了ヲ告ケタリト故ニ該船渠ト關係シテ總體ノ實查ナカリシタメ今ヤ此牴牾ヲ發見セシモノナルヘシ

從來太平洋北部ニハクヲータ、マスター灣船渠ト英領ヴァンクーバー嶋エスクワイモルト船渠ノ二箇所アルノミ而シテクヲータ、マスター船渠ハ太々狭小ニシテ本年一月中横濱タコマ港間航通ノ汽船ハンカオ號修理ヲ要セシトキモ該渠ニ入ルコトヲ得ズシテ故ラニ

英 國	獨 逸	佛 國	那 威	年 次	一八九五	洋往來 ノ諸船舶ニ對シ著シキ利便ヲ與フルモノト云フヘシ ○蘇士運河通航船ノ數 昨千八百九十五年中同運河ヲ通過シタル船舶ノ割合ハ前卷ニ記載シタルガ専ホ其艘數等ヲ茲ニ掲ク(アラクチカルインジニア)
二、三一八	二、三八八	露 國	瑞 典	年 次	一八九四	(以上三件 福文)
二、三一八	二、三〇四	土 耳 其 國	日 本	年 次	一八九四	
二、三〇四	二七八	西 班 牙	葡 萄 牙	年 次	一八九五	
二、三八八	一九二	米 國	瑞 典	年 次	一八九四	
二、三九六	一九一	三九	瑞 典	年 次	一八九四	
一九二	七八	三六	瑞 典	年 次	一八九五	
一九一	七二	三三	瑞 典	年 次	一八九四	
六二	五	三五	瑞 典	年 次	一八九四	
七一	二	二八	瑞 典	年 次	一八九五	
七一	一	二二	瑞 典	年 次	一八九四	
七一	一	一	瑞 典	年 次	一八九四	
尼加拉瓦	尼加拉瓦	尼加拉瓦	尼加拉瓦	年 次	一八九五	
三、四三四	三、四三四	三、四三四	三、四三四	年 次	一八九四	
三、三五二	三、三五二	三、三五二	三、三五二	年 次	一八九四	

○獨逸東北海間運河開通ノ結果　東北海間ノ運河開通ノ結果ハ大ニ獨逸政府ノ豫想ニ反
昨年通航船數三千四百三十四艘ノ合計噸數ハ八百四十四万八千三百八十三噸ナリ内三千二百六十六艘ハ夜間ニモ航行セリ一艘ノ通航時間ハ平均十六時十八分ニシテ昨年ニ比シ三分ノ減少ナリ通航稅ハ船舶ニ對シ七千五百九十三万四千「フラン」旅客二十一萬六千九百三十八人ニ對シ二百十六万九千「フラン」ノ收入ナリ

拔萃